

令和4年度 喬木村社会福祉協議会事業報告書

第1 社会福祉事業

1 法人運営

(1) 役職員

令和5年3月31日現在

区分	人数	任期	根拠
理事	9名	令和3年6月25日～令和5年6月定時評議員会	定款
監事	2名	令和3年6月25日～令和5年6月定時評議員会	定款
評議員	12名	令和3年6月25日～令和7年6月定時評議員会	定款
評議員選任・解任委員会	3名	令和3年6月25日～令和7年6月定時評議員会	定款・ 評議員選任解任委員会運営細
利用者苦情解決第三者委員	3名	令和5年4月28日～令和7年4月27日	社協利用者苦情解決体制要領
財産保全サービス運営・ 監視委員	3名	令和5年4月28日～令和7年4月27日	財産保全サービス運営・ 監視委員会設置要綱

(2) 職員

拠点	部門計	正規	契約	嘱託	パート	休業者	実労働者数
特養	46	27	3	5	10	1	45
在宅	42	19	6	2	15	0	42
事務局・地域	10	5	0	1	4	0	10
計	98	51	9	8	29	1	97

※参考：令和3年度末：職員数95名（正規51名、嘱託パート派遣42名 休職者2名） 実労働者93名

(2) 理事会

6月2日(木)	議案	令和3年度喬木村社会福祉協議会事業報告の承認について 令和3年度喬木村社会福祉協議会収入支出決算の報告の承認について 喬木村社会福祉協議会評議員会の招集日時、会場及び議案について 喬木村社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選出について 社会福祉法人長野県共同募金会 喬木村共同募金委員会会則の変更について
	報告事項	令和4年度喬木村社会福祉協議会 職員体制について
9月28日(水)	議案	修繕積立資産増額について 資金移動に承認について 喬木村社会福祉協議会就業規則一部改正について 喬木村社会福祉協議会パートタイム職員就業規則一部改正について 喬木村社会福祉協議会給与規程一部改正について
	報告事項	労働問題について 産業医との契約及び衛生委員会の立ち上げについて 社協より発生するごみの処分方法について
11月8日(火)	議案	令和4年度喬木村社会福祉協議会中間事業報告の承認について 令和4年度喬木村社会福祉協議会中間決算報告の承認について 喬木村社会福祉協議会評議員会の招集日時、会場及び議案について
	報告事項	コロナ感染状況の報告
12月22日(木)	議案	評議員選任・解任委員へ諮る評議員について 喬木村社会福祉協議会給与規程一部改正について
	報告事項	欠員補充の理事の選任について

3月10日(金)	議案	社会福祉法人喬木村社会福祉協議会 副会長の選任について 令和5年度喬木村社会福祉協議会事業計画の承認について 令和5年度喬木村社会福祉協議会会計予算の承認について 喬木村社会福祉協議会評議員会の招集日時、会場及び議案について 喬木村社会福祉協議会 事務局長の雇用継続について
・理事会開催・・・2月21日:特養部会、2月22日:在宅福祉部会、2月28日:地域福祉部会		

(3) 評議員会

6月25日(金)	議案	令和3年度喬木村社会福祉協議会事業報告の承認について 令和3年度喬木村社会福祉協議会収入支出決算の報告の承認について 社会福祉法人長野県共同募金会 喬木村共同募金委員会会則の変更について
	報告事項	令和4年度喬木村社会福祉協議会 職員体制について
11月28日(月)	議案	令和4年度喬木村社会福祉協議会中間事業報告の承認について 令和4年度喬木村社会福祉協議会中間決算報告の承認について
	報告事項	コロナ感染状況の報告
3月10日(金)	議案	令和5年度喬木村社会福祉協議会事業計画の承認について 令和5年度喬木村社会福祉協議会会計予算の承認について
	報告事項	広報誌掲載記事につて

(4) 監査会

5月24日(火)	令和3年度事業報告及び会計決算監査
10月24日(月)	令和4年度中間事業報告及び会計決算監査

(5) 研修会等

ア社協主催

開催日	テーマ・内容	対象者	参加者
10月2日(日)	講習会「災害ボランティアセンターと社協への期待」 講師：県社協街づくりボランティアセンター 徳永雄大氏	社協職員、行政担当者、 Vnetベリヤー	48名
11月27日(日)	全体講演「SDGsを知ろう」講師:県社協 元持 幸子氏 分科会 みんなで考える「SDGs」	一般	42名

イ社協職員研修

- (全体) 4月1日(金) 新任職員研修 4月26日(火) 服務規律読み合わせ
5月31日(火) AEDの取り扱いについて
6月28日(火) 防災学習会(地震)
7月26日(火) 交通安全研修
8月30日(火) 災害学習資料読み合わせ
10月25日(火) ハラスメント防止研修会
11月29日(火) 虐待防止研修会
1月19日(木) 感染症予防研修会
1月31日(火) リスクマネジメント研修会
・ケアマネ更新研修、主任ケアマネ研修、福祉教育、地域福祉、災害対応等

(6) 社協会費納入等の状況 (令和5年3月31日現在)

項目	金額		件数		備考
	今年度	前年	今年度	前年	
ア社協会費	<u>2,377,000</u>	<u>2,406,000</u>	<u>1,751</u>	<u>1,712</u>	
一般会費	1,642,000	1,590,000	1,642	1,590	1口：1,000円

法人会費	580,000	640,000	58	64	1口：10,000円
賛助会費	155,000	176,000	51	58	1口：3,000円他
イ一般寄付金	1,281,000	115,000	14	2	

(7)利用者苦情解決対策 ・第三者委員による解決事案 該当なし

(8)社協だよりの発行（4月、7月、10月、1月の4回発行）

(9)災害対応

①長野県社協の推進する「災害福祉カンタンマップ（ABCマップ）」に参画。

②BCP^注作成を進める（令和5年度末までの作成義務化）。

大雨災害時の基本マニュアル作成、法人内の対応を確認。

県社協の指導も受け、感染症への対応も含めたBCPの作成を進めている。

注：BCP(事業継続計画)とは、テロや災害、システム障害など危機的状況下に置かれた場合でも、重要な業務が継続できる方策を用意し、生き延びられるようにしておくための計画。

2 地域福祉活動

(1)「まいさぼ」出張相談事業

初期相談の受付12名 相談への同席38回

就労支援1名（就労体験、プチバイト）

まいさぼ飯田、村との連携会議3回開催

・生活に課題を抱えた方の相談支援実施

・長野県あんしん創造ねっと（県社協事業） 申請者5名 利用者3名

・フードドライブ^注 12月実施

・フードパントリー 7月30日(土) ふれあい広場にて子育て家庭向けに実施
12月29日(木) 年末支援として実施

・企業、ファミリーマートフードドライブとの連携

村内で食料の必要な方（借入者、困窮者、まいさぼ飯田）の食料支援を行う

注：フードドライブとは、家庭などで食べきれないで余っている食品を持ち寄り、施設・フードバンクなどに提供・寄付する活動。フードパントリーとは、子育て世帯・母子家庭・1人暮らしの高齢者・経済的困窮者などを主な対象に食材を無料配布する活動。

(2)権利擁護の推進事業

・日常生活自立支援事業 本年度実利用者6名（解約1名）

利用者内訳：認知症4名、知的障がい1名、精神障がい1名

専門員、生活支援員の利用援助回数333回

相談件数（問い合わせ、継続相談含む）125件。

成年後見制度の相談等、飯田市成年後見支援センターと連携を行った

(3)子ども支援

・生活困窮家庭の子どもに対する学習・生活支援事業の開始（県受託事業R2年度～）

利用者：高校生2名、中学生2名、小学生2名 支援回数：124回

支援場所：自宅、図書館、アスポ

学習支援協力員登録者：3名（元教員、塾講師）

※ 支援員3名により、4世帯6名の子どもの支援を開始する

5月12日(木) 10月19日(水)

7月6日(水) 12月8日(木)

9月9日(金) 2月22日(水)

6月6日(月)

} 中学校支援会議出席
中学校にて事業説明

6月10日(金) 第二小学校にて事業説明
7月22日(金) 学習支援協力員研修 2名参加

(4) 貸付事業

- ・生活福祉資金(県社協事業) 利用者1件
- ※新型コロナによる緊急貸付事業(生活福祉資金特例貸付)の窓口としての事業を実施。
緊急小口資金貸付 利用者3名
- ・くらしの資金(村社協独自事業) 利用者7名(内 新規2名)

(5) 子どもの居場所づくり支援事業(新規事業)

不登校の子どもが通える地域の居場所づくり立ち上げに向けて、
学習支援ボランティア、主任児童委員、教育委員会、村福祉係、社協との協働による
検討会を立ち上げた。

11月11日(金) 不登校の子どもをもつ保護者との懇談

1月16日(月) }
2月24日(金) } 子どもの居場所検討会開催

3月20日(月) 検討会メンバーと共に松川町「Hug」視察

(6) 生活支援事業(村受託事業◎)

6月～喬木村おたすけ隊事務局として、村と共に事業を行った。
利用者数44名、協力者数47名、コーディネート数18件

3、ボランティア活動

(1) ボランティアコーディネーターによる活動相談支援

- ① ボランティア登録数729名 活動依頼や要請・調整等
- ② 羽生医師によるボランティア健康相談(令和4年度より完全予約制) 相談者5名
- ③ ボランティア要請に対するコーディネート 各地区サロンほか

(2) 福祉教育の推進

- ① 中学校にて3年生対象の福祉学習実施
5月13日(金) テーマ:「福祉とは」アイスブレイクを通して、福祉について学びを深めた
5月26日(木) 認知症サポーター養成講座、村内福祉事業所説明(6事業所)
- ② 福祉協力校補助金(共同募金配分金事業) 中学5万円、第一小3万円、第二小2万円、養護学校2万円
- ③ サマーチャレンジボランティア
高校生15名、中学生27名の申し込みがあるが、コロナの影響で3日間4名実施したのみで中止に

(3) ニーズキャッチと情報発信

- ・ボランティア情報誌「さくみち」(独自に年8回、社協だより掲載4回の発行)
※ボランティア連絡会の編集委員により、ボランティア自身による情報発信を行っている。

(4) ボランティア育成支援

- ・「ぞうきんお届けプロジェクト」
地域で子育て家庭を応援するため、地域の方から手作りのぞうきんを募集し、村内3校へ届けることができた。
- ・個人ボランティアへの支援
古切手、書き損じはがき、ペットボトルキャップの収集、古布切りなど、個人でできるボランティア活動の支援を行った。

(5) 災害ボランティアセンター関連事業 (村補助事業:◇)

- ・ 10月2日(日) 災害ボランティアセンター立ち上げ訓練
第1部 講演会：講師：県社徳永雄太氏
第2部 講習会：災害ボランティアセンター設置運営訓練
参加者：社協職員、行政担当者、Vnetベリ
- ・ 災害ボランティアセンター職員派遣
静岡市災害ボランティアセンターへ職員1名派遣 R4.10/11~10/15
県社協と現場へ入りボラセンの立ち上げと運営を行う
- ・ 研修参加
飯田市社協の災害ボランティアセンター立ち上げ訓練に、職員3名参加
- ・ 災害福祉カンタンマップの活用
地区で作成した支え合いマップのカンタンマップへの入力準備
事業所データ入力更新
入力方法の整理(データ担当者と)
- ・ 防災地域支え合いマップ作りの地域への支援 5地区 6回

(7) 福祉団体への援助及びその他の事業

◎：村受託事業 ◇：村補助事業

◎① 高齢者クラブ連合会

総会、正副支会長・女性部長会、の開催
マレットゴルフ大会開催(村)と参加(県)
各支部・会員が7.8月にタオルを集め、村内学校や施設等へタオル寄付活動
女性部活動支援

② 遺族会

慰霊祭、村戦没者追悼式 11/25 コロナ感染拡大にて中止
役員総会、役員会の開催
親睦行事の段取り、郡との連絡調整等

③ ひとり暮らし高齢者(共同募金配分金事業：稲穂会)への支援

10/25、10/28、11/2 秋のドライブを実施。そらさんぽ天龍峡、下條村道の駅、弁当持ち帰り
28名参加

◎④ 住民グループ(サロン)活動への支援

- ・ サロン数:23団体(新規サロン1か所)、実施回数:140回、参加者総数:2,544名
- ・ 4/5サロン代表者会開催
- ・ サロン内容の相談、配布物の作成印刷、機材やレクリエーション用品の貸し出し等の支援

◇⑤ 認知症カフェ・認知症予防カフェの開催援助

- ・ 認知症カフェ9回開催 47名参加
- ・ 認知症予防カフェ9回開催 45名参加

⑥ 移送自動車貸出サービス 延べ利用者84名

⑦ 福祉用具貸出事業 長期貸出：車いす2台 短期貸出：車いす54回

◎⑧ 寝具乾燥消毒サービス [村受託事業] ・利用者65名 (利用券使用枚数186枚)

◎⑨ 訪問理美容事業 [村受託事業]

要介護3~5、特別障害者手当受給者で外出困難者 利用者10名 (利用券使用枚数23枚)

⑩ 心配ごと相談の実施

毎月1回実施 10:00~11:00 相談件数5件

民生児童委員と行政相談員(弁護士は7月・10月・2月)

◎⑪ 結婚相談事業事務局

- ・ 相談員5名、定例結婚相談(毎月第3土曜日)開催 4名来所
- ・ 定例相談日に合わせて、定例の相談員会を開催。相談4件、お見合い0件、その他24件

- ・ 6月12日(日) 婚活イベント：「さくらんぼ狩り&BBQ」 参加者：男女各3名計6名
1月21日(土) 「天龍峡ナイトミュージアム&ココリズムディナー」 参加者:男性5名、女性4名
- ・ 北部ブロック結婚相談員研修会(11/15) 3名参加
- ・ 北部地区結婚相談所運営委員会(幹事会)への参加

⑫ 配食サービス

- ・ 一月平均実利用者数 43.6人 一日当たり平均 25.1食 延べ利用者数 523人

⑬ 認知症総合支援

- ・ 認知症サポーター養成講座を開催(講師：なずなの会)
5月26日(木) 喬木中学校 3年生 57名受講
7月3日(日) 氏乗地区 22名受講

II.在宅福祉事業

1、居宅介護支援事業(ケアマネ)

(1)実績

利用者延べ人数：1,281	前年対比 133人減
---------------	------------

(2)職員体制 常勤4名(管理者含む)、兼務1名

(3)計画の実施状況等

- ・ 利用者家族の会は、学習会を計画していたが、コロナの影響により中止とした。
- ・ R4年5月より特定事業所加算を取得。介護保険収入額前年度対比3,381,060円増額。
加算要件である情報伝達会議の開催、24時間連絡体制の確保等に対応している。
- ・ 職員に業務用携帯が支給されたことにより業務が効率化でき、連絡が取りやすい体制ができている。
- ・ コロナにより関係者が集まるケース検討会ができない代わりに、ケアマネのなかで個別ケース検討会を充実させ情報共有し、サービス向上に努めた。
- ・ オンラインでの研修にも積極的に参加し、研修内容を部署で共有し知識向上に努めた。
- ・ 新規依頼ケースにも積極的に対応し、新規利用者は前年度対比13名増加している。
- ・ 独居者増加により緊急対応の必要性も増加。

2、訪問介護事業(ヘルパー)

(1)実績

		R4年度	R3年度	R2年度	増減(対比R3年)	
介護保険 認定者	実利用者数	617名	550名	341名	67名	112.2%
	延べ訪問回数	8,819回	7,843回	5,590回	976回	112.4%
介護予防総合 事業対象者	実利用者数	189名	168名	184名	21名	112.5%
	延べ訪問回数	895回	718回	858回	177回	124.7%

- ・ 移送サービスは市立病院の送迎を1名行っている
- ・ 福祉輸送サービスでは、11名の利用者(病院・買い物への送迎)

(2)職員体制 ・常勤職員5名(うち2名兼務)、パート職員4名(うち1名兼務)

(3)計画の実施状況等

- ・ 希望の利用時間に対して柔軟な対応ができるよう努力した。
- ・ 利用者の価値観を尊重しつつ、自立を促すような支援に心掛けた。
- ・ 昨年より継続して、コロナ対策を徹底して感染防止に努めた。コロナ陽性者宅の訪問を毎日朝、晩行っ
- ・ サービス提供責任者研修1名受講
- ・ 飯田女子短大生2名の実習を受け入れる。

※ 年間をとおして、前年対比で、利用者は約1.12倍、利用回数約1.14倍と伸びている。

要支援や要介護状態になっても、住み慣れた自宅で暮らし続ける方が増えており、一人の利用者に対しての訪問回数も増加し、必要なサービスを提供していることが、実績につながっている。

3、通所介護事業(デイサービス)

(1) 実績

① 稼働日…日曜日、年末年始を除く毎日

計 303日 定員30名

② 利用者数

		延べ利用者数		利用割合	
		R4年度	R3年度	R4年度	R3年度
介護予防・ 日常生活支援 事業対象者	事業対象者	578名	642名	7.58%	8.00%
	要支援1	94名	67名	1.23%	0.83%
	要支援2	256名	237名	3.36%	2.95%
	計	928名	946名	12.18%	11.78%
要介護 認定者	要介護1	2,165名	2,245名	28.40%	27.96%
	要介護2	1,280名	1,693名	16.79%	21.09%
	要介護3	1,271名	1,084名	16.68%	13.50%
	要介護4	1,051名	995名	13.79%	12.39%
	要介護5	927名	1,065名	12.16%	13.27%
	計	6,694名	7,082名	87.82%	88.22%
全体	合計	7,622名	8,028名	平均介護度	
	1日平均	25.16名	25.98名	要介護2.12	要介護2.10

・ コロナ感染によりR4.10月25から29日までデイサービス営業休止とした。

・ 要介護認定者の利用は前年対比 94.5%に減少。

・ 介護予防・総合事業対象者の利用も前年対比 98.1%に減少。

※利用者の重度化と、利用者のニーズの増加に対応することができた。

(2) 職員体制 ・ 介護職員（常勤：10名、パート1名） ・ 看護師4名 ・ 送迎員3名 ・ 用務員2名

(3) 計画の実施状況等

・ 保育園交流 3回、村内のお花見(桜、ポピー等)、紅葉ドライブ(イチョウ等)を実施。

・ ボランティア受入れ

敬老会、クリスマス会の演芸ボランティアの受入れは、コロナにより中止

シーツ交換ボランティアは、コロナ対策(人数制限等)をして3回受入れ

傾聴ボランティアは、コロナ警戒レベルに合わせて受け入れを行った。

・ 飯田女子短大生2名の実習を受け入れる。

・ 喬木村中学生の福祉体験学習、サマーチャレンジボランティアは、コロナの為受入れ中止

・ 防災訓練を実施 (10/11 火災想定、3/13 地震想定)

・ 浴室の機械浴を、椅子で入浴できる個浴2台に改修する(村の長寿命化工事で)

※ 新型コロナウイルス感染予防対策を継続して行い感染防止に努めた

・ 施設内では利用者間の距離を取り、対面にならない座席の配置とした

・ 朝の送迎時の検温、手指消毒、マスク対応をして受入れた

陽性者確認時には感染症予防の為、看護師が簡易キットで検査を実施し受け入れを行った。

・ 換気と手指、室内、福祉用具や車両の消毒清掃を行う。

・ 認定看護師を講師に招き、ゾーニング方法と職員全員の感染症予防の研修会を実施した。

4、宅老所ふれ愛(地域密着型通所介護事業)

(1) 実績

① 稼働日…日曜日、年末年始を除く毎日 計 307日 定員 10名

② 利用者数

		延べ利用者数		利用割合	
		R4年度	R3年度	R4年度	R3年度

介護予防・日常生活支援事業対象者	事業対象者	127名	253名	4.79%	9.54%
	要支援1	40名	0名	1.51%	0.00%
	要支援2	66名	56名	2.49%	2.11%
	計	233名	309名	8.79%	11.66%
要介護認定者	要介護1	1,274名	1,299名	48.06%	49.00%
	要介護2	899名	856名	33.91%	32.29%
	要介護3	201名	236名	7.58%	8.90%
	要介護4	44名	8名	1.66%	0.30%
	要介護5	0名	0名	0.00%	0.00%
	計	2,418名	2,399名	91.21%	90.49%
合計	合計	2,651名	2,708名	平均介護度	
	1日平均	8.64名	9.20名	要介護1.66	要介護1.61

- ・要介護認定者の利用は前年対比100.7%に増加。
 - ・介護予防・総合事業対象者の利用は前年対比75%に減少。
- ※コロナ感染により1週間休業、次週も1週間半日営業となり収入減となってしまった。

(2) 職員体制 ・正規、嘱託職員 4名（うち兼務1名）、パート5名（うち兼務3名）

(3) 計画の実施状況等

- ・季節の行事を感染対策を取りながら行った（干し柿、凍み大根作り・五平餅作り・ぼた餅作り・おやす作り・節分豆まき・餅花作り等）
- ・お花見外出（桜、花桃、くりん草、ポピー、彼岸花）秋の行楽ドライブを実施。
- ・ボランティア受入れ 警戒レベルに合わせ村内の方のみ少人数で受け入れを行った。（アコーディオン・オルガン演奏、コグニサイズ体操、オカリナ演奏、畑ボランティア他）
- ・毎日の機能訓練維持に体操・レクリエーション等を取り入れている
- ・宅老所運営推進会議を年2回開催した。10/6に3名の利用者様(2名は利用者様家族)が参加。3/24に2名の利用者様(1名は利用者様家族)が参加。
- ・地震発生を想定した避難訓練を実施 9月30日

※ 11月の事業所内コロナ感染クラスター発生に伴い下伊那郡厚生病院の認定看護師の方に来ていただき、環境整備・感染拡大を予防するためのポイントを教えていただいた。

- ・感染を最小限に抑える為にテーブルとテーブルの距離を開けて食事や活動を行う。
- ・午睡時もベットとベットの距離をとる。（頭の位置を逆にする等）
- ・流入があるように2ヶ所窓を開けておくか、定期的（1時間に1回位）3分～5分換気を行う。
- ・送迎中の車内も流入があるように、前後2ヶ所開けて送迎する。
- ・正しいマスクの着用。不織布マスクの着用と鼻マスクにならないように注意する。
- ・座布団・クッション等、感染源になるので外せるものは外す。
- ・手指消毒、検温、室内の消毒は継続して行っていく。

5、いきいきクラブ

(1) 実績 ① 稼働日…午前コース 月～金曜日・入浴コース 月～金曜日(祝日、お盆、年末年始は休み) 年間224日

② 利用者数	R4年度	R3年度	R2年度	増減(R3年対比)	
登録者数	92名	87名	87名	5名	105.7%
延べ利用者数	2,807名	2,028名	1,981名	779名	138.4%
平均利用者数	11.8名	9.8名	10.1名	2.0名	120.4%

* 介護への移行者 13名

* 新規利用者 11名（入浴コース 4名）

(2) 職員体制 正規職員 2名(兼務 1名)、契約職員 1名、パート(兼務) 1名

(3) 計画の実施状況等

- ・ 午前コース、入浴コース共に新規利用者が増加した。見学者がそのまま入会するケースや、利用者の紹介から入会するケースも増加した。。しかし、介護保険に移行し退会者も増加した。
- ・ 民生委員へ募集の説明と協力を求めたり、包括との連携を行い新たな希望者につなげている
- ・ コロナ対策として、利用者に対する送迎時の検温、手指のアルコール消毒、施設内のアルコール消毒、換気の実施をした。利用時は職員、利用者ともにマスク対応を行った
- ・ ヒマワリプロジェクトに参加し、花を楽しみ、種を収穫した。
- ・ 男性コースの利用者でユニクロへ買い物へ行き、テレビ・新聞の取材を受けた。
- ・ 季節ごとに村内巡りを行い、四季を感じた。
- ・ 職員が他事業所と兼務し、経営改善につなげた。

III. 特養喬木荘

(1) 行事・できごと等

- 5月23日～29日 初期消火訓練（消火器の取り扱い含む）
- 5月25日(水) 喬木荘職員消防訓練 ・通報訓練、避難誘導訓練、伝達訓練
- 6月28日(火) 通報訓練（新人職員）
- 7月27日(水) 喬木荘夏祭り
- 9月14日(水) 敬老祝賀会
- 9月26日(月) 村長来荘し、表彰状授与
- 12月25日(日) おやす作り
- 12月28日(水) 餅つき
- 1月6日(金) どんど焼き
- 2月3日(金) 豆まき
- 3月20日(月) 偲びの会
- 3月24日(金) 消防訓練
- ※保育園交流（オンライン含む）…（5月,6月,7月,9月,10月,11月,3月）
- ※お楽しみ会…（6月,8月,10月,12月,1月,3月）

(2) 利用者の状況について

① ロング利用者の入退所状況

※ 4月～3月の退所者：15名(喬木村6名、飯田市5名、高森町1名、松川町1名、大鹿村1名、豊丘村1名)
(参考：R3年 13名)

※ 4月～3月の入所者：15名(喬木村 4名、飯田市 7名、大鹿村 1名、豊丘村 2名、松川町 1名)

② ロング利用者の介護度

	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
令和4年度	1	1	24	25	4.3
令和3年度	1	0	26	22	4.4

③ ショート利用者の状況

令和4年度の稼働率	80.10%	令和4年度平均介護度	2.90
令和3年度の稼働率	80.10%	令和3年度平均介護度	2.90

(3) 介護内容について

今年度は以下の3点を目標に介護サービスを実施した。

① ご本人とご家族の意思を尊重し、最期までその人らしい生活を支える。

- ・ 感染レベルを考慮し、対策を取りながら施設内での行事を実施した。行事は3密を回避に努め、職員が企画し利用者を楽しんでいただいた。
- ・ 敬老祝賀会では、100歳以上の方4名、99歳の方2名、88歳の方2名が表彰を受けた。
- ・ 感染レベルに対応した面会の実施（直接、窓越し、オンライン）し、ご家族とのつながりを大切にしました。

② 介護事故の予防、感染症の予防と蔓延防止対策を実施し、安全・安心なサービスに努める。

◎ 新型コロナウイルス感染症について

- ・ 年間通して職員9名が感染。保健所の指導のもと消毒や対策を実施し施設内感染はなかった。
- ・ 濃厚接触者になり欠勤する職員も多く、職員体制は厳しい状況にあった。
- ・ 荘内感染ガイドラインの随時見直しを行った。
- ・ ワクチン接種は5回終了

◎ 浴槽改修工事（村事業）.

- ・ 特殊浴槽の入れ替え工事と浴室一部改修工事を行い、利用者様に安心して安全に入浴していただけるようになった。

◎ 安全衛生管理

- ・ 移乗用リフト2台と腰痛ベルトの購入し、職員の腰痛予防のためと利用者様の安全に努めている。

③ 地域のみなさんとのつながりを大切にし、安心して利用できるサービスに努める。

- ・ 配食弁当について利用者ニーズの対応、試食の実施など利用希望の増えている中どのようなことができるのか、地域福祉係と情報交換を行った。
- ・ 保育園との交流は、直接交流の機会は少なかったが、オンラインを活用しながら実施した。
- ・ 地域との防災訓練を11月に企画したが、コロナ感染症の感染拡大時期と重なってしまい、実施できなかった。
- ・ また来たいと思っただけのショートステイを目指し、利用中の余暇活動の充実に努めた。

(4) 職員研修について

○ 外部研修

- 10月27日(木)
- 10月28日(金)
- 11月25日(金)
- 11月11日(金) 看取りケア推進研修 (2名)
- 1月27日(金) 決算書研修 (2名)

新任職員研修 (4名)

○ 内部研修

- 10月 褥瘡予防研修
- 10月19日(水) メンタルヘルス研修 (正副主任対象)
- 11月29日(水) メンタルヘルス研修 (職員対象)
- 11月、12月 感染症研修 (季節性感染症)
- 3月 防災訓練+BCP研修
リスクマネジメント研修(年間のまとめとKYT) 研修